



本資料は、米国アッヴィ社が2019年1月25日(米国時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、2019年1月31日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2019年1月31日

アッヴィ、2018年通年および第4四半期の業績を発表

- 2018年通年の希薄化EPSはGAAPベースで3.66ドルでした。調整後希薄化EPSは41.3%増の7.91ドルでした。
- 2018年通年の売上高はGAAPベースで327億5,300万ドルでした。調整後売上高は、営業ベースで15.2%増の327億3,300万ドルでした。
- 2018年通年のヒュミラ®の全世界での売上高は、報告ベースで8.2%増、営業ベースで7.4%増の199億3,600万ドルでした。
- 2018年通年の血液腫瘍領域の売上高は、報告ベースで45.9%増の39億3,400万ドルでした。通年のイムブルピカ®*の売上高は39.5%増の35億9,000万ドルでした。VENCLEXTAは、3億4,400万ドルでした。
- 2018年通年のHCVの全世界の売上高は、36億1,600万ドルでした。
- 2018年第4四半期の希薄化1株当たり損失は、GAAPベースで1.23ドルでした。2016年のStemcentrx社の買収に関する無形資産にかかわる減損損失が含まれません。調整後希薄化EPSは、前年同期比28.4%増の1.90ドルでした。
- 2018年第4四半期の売上高は、83億500万ドルでした。調整後売上高は、営業ベースで8.3%増の83億500万ドルでした。
- 2019年通年のGAPPベースの希薄化EPSの見通しを7.39~7.49ドルと発表しました。2019年の調整後希薄化EPSの見通しを、中間値における10.0%の上昇を反映し、8.65~8.75と見込んでいます。

*日本ではヤンセンファーマ株式会社が販売

米国イリノイ州ノースシカゴ、2019年1月25日—アッヴィ(NYSE:ABBV)は、2018年第4四半期および通年(2018年12月31日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「2018年は、売上高を15%以上、EPSを40%以上伸ばし、非常に優れた業績を達成しました。アッヴィにとって重



要な新しい段階に入りました。いくつもの新製品の上市等もあり引き続き事業は好調となることから、2019年は再び好業績を収め、かつ長期的な成長も期待できます」

第4四半期の業績

- 全世界の売上高は、GAAPベースで前年同期比7.3%増の83億500万ドルでした。調整後売上高は、為替レート変動による1.0%のマイナス影響を除く、営業ベースで8.3%増の83億500万ドルでした。
- ヒュミラ®の全世界での売上高は、報告ベースで0.5%増、為替レート変動による0.9%のマイナス影響を除く、営業ベースで1.4%増となりました。第4四半期の米国国内でのヒュミラ®の売上高は9.1%増でした。米国外では、バイオシミラーの影響を直接に受けた市場があり、営業ベースで14.8%減でした。
- 血液腫瘍領域の全世界での売上高は、報告ベースで50.2%増の11億3,000万ドルでした。イムブルビカ®の売上高は、42.0%増の10億600万ドルで、VENCLEXTAは、1億2,400万ドルでした。
- HCVの売上高は、8億6,200万ドルでした。
- GAAPベースで、売上総利益率は75.7%でした。調整後売上総利益率は79.8%でした。
- GAAPベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、23.2%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は21.6%でした。
- GAAPベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、78.2%でした。調整後の研究開発費の割合は、パイプラインへの投資を反映し、16.5%となりました。
- GAAPベースで、営業利益率は-29.4%でした。調整後営業利益率は41.7%でした。
- GAAPベースで、純支払利息は3億1,900万ドルでした。GAAPベースの税率は、23.1%でした。調整後の税率は、9.1%でした。
- 希薄化1株当たり損失はGAAPベースで1.23ドルでした。2016年のStemcentrx社の買収に関する無形資産にかかわる減損損失が含まれます。特定項目を除く、調整後希薄化EPSは、前年同期比、28.4%増の1.90ドルでした。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)

<https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-full-year-and-fourth-quarter-2018-financial-results.htm>

アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、がん、C型慢性肝炎などのウイルス感染症およびニューロサイエンスの4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧



ください。Twitter アカウント [@abbvie](#)、[Facebook](#)、[LinkedIn](#) や [Instagram](#) でも情報を公開しています。

アッヴィ 今後の見通しに関する記述

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する記述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する記述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する記述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する記述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。

アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission (米国証券取引委員会) に提出済みのアッヴィの2017年度アニュアルレポート(10-K書式)の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する記述を更新する義務を負わないものとします。